

Glycaemic control is a predictor of infection-related hospitalization on haemodialysis patients: Miyazaki Dialysis Cohort study (MID study)

学位名	博士(医学)
学位授与機関	宮崎大学
学位授与番号	17601甲第437号
URL	http://hdl.handle.net/10458/6170

学位論文審査結果の要旨

博士課程 ①・乙	第 437 号	氏名	戸井田 達典
審査委員	主査氏名	中里雅光	
	副査氏名	岡山 昭三	
	副査氏名	黒田 嘉紀	
<p>[論文題名]</p> <p>宮崎透析コホート研究(MID) study</p> <p>1. Risk of cerebral infarction in Japanese hemodialysis patients: Miyazaki Dialysis Cohort Study (MID study). Kidney Blood Press Res. 2016; 41(4): 471-8</p> <p>2. Glycaemic control is a predictor of infection-related hospitalization on haemodialysis patients: Miyazaki Dialysis Cohort study (MID study). Nephrology (Carlton). 2016; 21(3):236-240. doi: 10.1111/nep.12587.</p> <p>[要旨]</p> <p>論文1では1551名の維持血液透析患者を3年間追跡し、脳梗塞の新規発症におけるリスク因子を前向きに検討した。84例脳梗塞の発症を認め、糖尿病や高齢に加え、脳梗塞の既往や心房細動が新規脳梗塞の発症と関連を認めたが、抗血小板薬や凝固薬とは関連していなかった。</p> <p>論文2については、上記論文と同じ患者群において、糖尿病合併患者における血糖管理と感染症関連入院との関連について前向きに検討した。糖尿病合併患者、特にHbA1cが高い患者において有意に感染症入院の発症が多かった。HbA1c7.4%以上群、高齢、低アルブミンの患者において有意な関連を認めた。</p> <p>維持透析患者解析により、脳血管障害や感染症に寄与する因子が明らかとなった。</p>			

別紙様式第11 (第8条関係)

最終試験結果の要旨

博士課程 甲	第 437 号	氏 名	戸井田 達典
審 査 委 員	主 査 氏 名	中 里 雅 光	
	副 査 氏 名	岡 山 昭 子	
	副 査 氏 名	黒 田 嘉 紀	
[要 旨]			
学位論文の内容およびその関連領域に関する知識について口頭で試問を行った結果、医学博士の学位に値する学力を有するものと判定した。			